



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきいき 自分から~

平成29年12月22日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.10

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

2学期の終わりに当たり

本日、2学期の終業式を迎えました。88名の子どもたちは、それぞれ一生懸命に2学期の学校生活を送ることができました。これも、保護者の方々を始め、地域の皆様方のご協力ご支援のお陰だと感謝しております。

今学期も、「笑顔で いきいき 自分から」の子ども像の実現に向け、多くの学習や行事に取り組んできました。暑い日差しの下で行った運動会を始め、校内マラソン大会、校外学習、人権学習、保小中連携した学習、市の合同音楽会などの行事の中で、子どもたちは自分の目標を立て、その目標に向かって日々努力し、さまざまに力を伸ばしてきました。また、毎日の学習を通して、子どもたちは、コツコツと地道に取り組み、多くの知識を得、考える力や自分の思いを説明する力などを高めました。一人一人の成長を本当にうれしく思います。



【毎日の登校指導 お世話になりました】

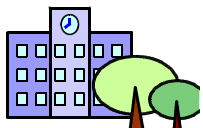
さて、明日から冬休みです。冬休みには普段より子どもと一緒に過ごす時間が多くなります。家族団らんの際の多い冬休みを利用して、是非大人の方から「座右の銘」や「人生訓」の話をしていただきたいと願っています。先日、ある作家が、「人間にはしっかりとした人生を歩むために、『心のおもり』が必要である。『物をほしがらな』『見栄を張らな』という父からの教えがあったから、私は自分を戒め幸福な人生を送ることができた。」と述べておられました。

今の子どもたちにとっては「人に迷惑をかけない」「辛抱が大切」などの言葉になるとと思いますが、身近な大人からじっくりと話してもらった実感ある言葉が、今後の子どもの考え方や生き方の大切な基盤となるのだと感じます。ひと昔前と違って最近の生き方が多様であり、将来ますます子どもの選択肢も広がっていくことでしょう。そのような中で危機に際した時、身近な人のある言葉を思い出し、「心のおもり」として実感することになれば、きっとその子の人生は変わるのだらうと思います。

また、年末の大掃除には子どもにも一役の仕事を与え、積極的に参加させていただきたいと思います。年末は寒くて大掃除には時間がかかり、子どもにとって面倒かもしれませんが、家族の一員としての責任を持たせたり、我慢して最後までやり切らせたりして、「心を磨く」ことのできるよい機会です。

年末年始の慌ただしい時ではありますが、時間を見つけて子どもと一緒に時間を過ごしたり、一緒に掃除をしたりしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

3学期の始業式には、子どもたち全員がそろって元気に登校できることを願いますとともに、皆様おそろいでよいお正月をお迎えくださいますようお願い申し上げます。



小中一貫で子どもを育てる⑨

4年生 高速道路の学習

12月5日
(火)、本校と由良川小学校の4年生が、

京都縦貫自動車道舞鶴大江インターチェンジへ行きました。そこでは、集中管理室などの施設を見学して、事故防止や緊急事態に対する対処について教えていただきました。また、そこに従事している人々の工夫や努力についても学びました。

子どもたちは、普段見ることのできない多くのモニターのスイッチを切り換えさせてもらったり、大きな除雪車やパトロールカーなどを間近で見て説明してもらったり、興味津々で多くの学習をしました。



【舞鶴大江IC 集中管理室】

校長 羽賀 玲子 教職員一同

